

HORIZON



2ndアルバム『ether[エーテル]』より1年2カ月振りとなる待望のニューアルバムのリリースが決定。前作において、3ピース・ロックバンドという形態に固執せず、ストリングスや鍵盤を大胆にも導入し、バラエティー豊かなアレンジを施し覚醒したレミオロメンの、更なるスケール感とサウンドバリエーションが凝縮された最高傑作。アルバムタイトルの『HORIZON』には、地平線と水平線といった本来の意味だけではなく、このアルバムで自らの限界を超えていくという彼らの強い意思が込められている。大ヒットシングル「蒼の世界」「粉雪」「太陽の下」3作(全てオリコン最高位2位を記録)を収録。

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

太陽の下



大沢たかお、松雪泰子らが出演の映画『子ぎつねヘレン』の主題歌。大きな意味での愛を表現した、まさに暖かな太陽の光を感じさせる、ぬくもりにあふれたナンバーに仕上がっている。三郷市文化会館で行われたライブからも2曲を収録！D-EXTRAには「太陽の下」ミュージックビデオ収録。デジパック仕様

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

粉雪



絶妙にバンド感を残したサウンドに美メロが光る、レミオロメンの珠玉のバラード・シングル。彼らの冬の定番となりそうな、ウインター・ソングの名曲が完成。収録3曲がすべて新曲なのも嬉しい。テレビドラマ『1リットルの涙』エンディングテーマ曲

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

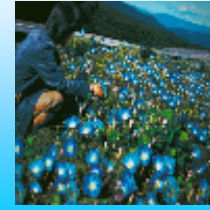
ether



ここでのバンドの音楽的な欲望の翼の広げ方には正直、あ然とする。「南風」でポップソングの王道を自分たちの言葉と音で表現した必然、その成長もアルバムの中では12曲のうちの1曲でしかない。大仰なぐらいのセンチメントをかきたてるオーケストレーションも、クールな打ち込みも、全然浮いていない。ミスチルやサザン級のメロディや、3ピースで鍛錬してきたボトムのしっかりしたビートが、どんなアレンジも栄養にする。そして日常の場を東京に移してからの藤巻の言語表現のなんと爽快なことか。事実にも満ち過ぎているのに。希望や絶望の先にこそ、飛び立つ鍵があるからかもしれない

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

朝顔



超娯楽大作は、観ているあいだは非日常へ飛んでいけるが、フツウの日常の虚無はなくなることなく背中に張り付いている。ソツなく気の利いたMCもできるこの1980年生まれ(1人は79年だが)の3人組は、ちゃんと自分たちの欠落を知っている。甘えじゃなく、とてつもない孤独を知ったうえで、永遠などないことも知ったうえで、アナタと繋がるうとする。

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

3月9日



「メンバーの共通する友人の結婚式のために作った」というエピソードを持つこの曲(その結婚式は、2002年の3月9日に行われた)は、安定感とダイナミズムを兼ね備えたドラム、メロディを支えながらたおやかなグルーブを生み出すベース、暖かさとしなやかさを同時に感じさせるギター、そして、「旅立ち」をテーマにしたハート・ウォーミングなヴォーカルがひとつになったミドル・バラードだ。真摯でまっすぐな歌心とロック・バンドとしてのパワーを高いレベルで同居させたこの曲は、彼らの“山梨時代”を代表する楽曲と言えるだろう

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

HORIZON



2ndアルバム『ether[エーテル]』より1年2カ月振りとなる待望のニューアルバムのリリースが決定。前作において、3ピース・ロックバンドという形態に固執せず、ストリングスや鍵盤を大胆にも導入し、バラエティー豊かなアレンジを施し覚醒したレミオロメンの、更なるスケール感とサウンドバリエーションが凝縮された最高傑作。アルバムタイトルの『HORIZON』には、地平線と水平線といった本来の意味だけではなく、このアルバムで自らの限界を超えていくという彼らの強い意思が込められている。大ヒットシングル「蒼の世界」「粉雪」「太陽の下」3作(全てオリコン最高位2位を記録)を収録。

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

03-09



日本の最新ヒットチャートを賑わす3ピースバンド・レミオロメンが3月に行った初となる武道館ライブの様相を収録。大ヒットシングル「南風」をはじめ、「3月9日」「モラトリアム」など、アルバム「ether [エーテル]」の楽曲を中心に熱唱する。

レミオロメン NEXT GENERATION ROCK!!!

レミオロメン

レミオロメン

ホライズン